



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年10月28日

上場会社名 株式会社エイトレッド

上場取引所 東

コード番号 3969 URL <https://www.atled.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）岡本 康広

問合せ先責任者（役職名）管理部長

（氏名）新 祐介 TEL 03-3486-6312

半期報告書提出予定日 2026年10月30日

配当支払開始予定日 2026年12月7日

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	1,649	17.3	556	15.4	573	17.7	376	16.5
2026年3月期中間期	1,405	2.1	482	△8.8	487	△8.0	322	△8.9

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	50.22	—
2026年3月期中間期	43.12	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	7,355	5,858	78.6
2026年3月期	6,909	5,610	80.1

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 5,782百万円 2026年3月期 5,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2027年3月期	—	18.00	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	—	—	18.00	36.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,260	12.3	1,170	11.4	1,170	10.2	783	9.3	104.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	7,487,400株	2026年3月期	7,487,400株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	218株	2026年3月期	218株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	7,487,182株	2026年3月期中間期	7,487,215株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3の「1. 経営成績等の概況（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果等により緩やかな景気の回復が続くことが期待されるものの、地政学的リスクの高まりや自然災害の影響、金融資本市場の変動の影響等の懸念により、先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

当社が属するIT業界は、ソフトウェア投資が増加しており、企業収益の改善等を背景に、今後もITへの投資は堅調に推移することが期待されます。また、少子高齢化や労働人口の減少等を背景に、労働生産性の向上が課題となっており、既存システムの刷新やデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進によるIT投資需要の高まりを受け、当社が展開するワークフローソフトウェアについても需要が拡大し堅調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社はワークフローソフトウェアメーカーとして、Webを活用したセミナーの開催及び全国主要都市でのパートナー企業との共同セミナーの開催、市場優位性を確保するための製品・サービスの機能強化、並びに急速に拡大するクラウドサービス市場のシェア獲得に向けたクラウドビジネスの拡大に注力してまいりました。

これらの結果、当中間会計期間の売上高は16億49百万円(前年同中間期比17.3%増)、営業利益は5億56百万円(同15.4%増)、経常利益は5億73百万円(同17.7%増)、中間純利益は3億76百万円(同16.5%増)となりました。

なお、当社の事業はワークフロー事業の単一セグメントのため、製品・サービス別の業績の概要を記載しております。

(パッケージソフト)

X-p o i n tは、クラウドサービスへシフトしたこと等により売上高が減少いたしました。A g i l e W o r k sは、新規導入企業数が順調に増加したこと等により売上高が増加いたしました。その結果、当中間会計期間のX-p o i n t売上高は73百万円(同24.2%減)、A g i l e W o r k s売上高は6億66百万円(同35.2%増)となり、パッケージソフト全体の売上高は、7億40百万円(同25.4%増)となりました。

(クラウドサービス)

クラウドサービスは、クラウドサービス市場の成長及びDXの推進に伴うワークフロー需要の拡大を背景として、Webを活用したセミナー、無料トライアルの実施等により、新規導入企業数が順調に推移しました。また、パッケージソフトのX-p o i n tからのシフトも増加いたしました。その結果、当中間会計期間のクラウドサービス売上高は、9億8百万円(同11.5%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間会計期間末の資産合計は73億55百万円となり、前事業年度末に比べ4億46百万円の増加となりました。これは、主に預け金が9億80百万円減少したものの、有価証券が9億93百万円、現金及び預金が4億54百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当中間会計期間末の負債合計は14億96百万円となり、前事業年度末に比べ1億98百万円の増加となりました。これは、主に契約負債が58百万円、賞与引当金が49百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払金が53百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末の純資産合計は58億58百万円となり、前事業年度末に比べ2億47百万円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が2億48百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して5億26百万円減少し、30億67百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、8億69百万円(前年同期は5億85百万円の獲得)となりました。これは、主に法人税等の支払が1億94百万円あったものの、税引前中間純利益が5億74百万円、減価償却費が2億32百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、12億68百万円(前年同期は2億20百万円の使用)となりました。これは、主に有価証券の償還による収入が20億円あったものの、有価証券の取得による支出が29億80百万円、無形固定資産の取得による支出が2億81百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億27百万円(前年同期は1億19百万円の使用)となりました。これは、配当金の支払が1億27百万円あったことによるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績は、計画どおりに推移しております。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当中間会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,584,336	3,039,193
売掛金	270,058	168,617
電子記録債権	51,694	—
有価証券	1,990,819	2,983,989
預け金	1,009,383	28,467
その他	36,146	96,563
流動資産合計	5,942,438	6,316,830
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	2,688	2,592
その他(純額)	3,481	7,931
有形固定資産合計	6,169	10,523
無形固定資産		
ソフトウェア	868,510	813,154
ソフトウェア仮勘定	9,961	115,366
無形固定資産合計	878,471	928,521
投資その他の資産	82,151	99,387
固定資産合計	966,791	1,038,433
資産合計	6,909,230	7,355,263
負債の部		
流動負債		
買掛金	32,874	35,072
未払法人税等	208,981	230,636
契約負債	729,110	787,874
賞与引当金	70,371	119,903
その他	168,064	237,703
流動負債合計	1,209,401	1,411,189
固定負債		
退職給付引当金	60,002	54,421
役員退職慰労引当金	29,131	31,181
固定負債合計	89,133	85,602
負債合計	1,298,535	1,496,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	621,916	621,916
資本剰余金	621,916	621,916
利益剰余金	4,289,934	4,538,691
自己株式	△445	△445
株主資本合計	5,533,321	5,782,078
新株予約権	77,373	76,392
純資産合計	5,610,694	5,858,471
負債純資産合計	6,909,230	7,355,263

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	1,405,353	1,649,163
売上原価	510,594	588,187
売上総利益	894,759	1,060,975
販売費及び一般管理費	411,970	504,052
営業利益	482,789	556,922
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,763	16,917
その他	—	42
営業外収益合計	4,763	16,960
経常利益	487,552	573,883
特別利益		
新株予約権戻入益	—	980
特別利益合計	—	980
税引前中間純利益	487,552	574,864
法人税、住民税及び事業税	163,975	216,061
法人税等調整額	740	△17,236
法人税等合計	164,715	198,824
中間純利益	322,836	376,039

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	487,552	574,864
減価償却費	195,572	232,941
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,411	49,532
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,414	△5,581
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2,954	2,050
受取利息及び受取配当金	△4,763	△16,917
株式報酬費用	11,442	—
新株予約権戻入益	—	△980
売上債権の増減額(△は増加)	68,354	153,135
仕入債務の増減額(△は減少)	4,357	2,198
契約負債の増減額(△は減少)	△29,395	58,763
未払金の増減額(△は減少)	△732	60,027
その他	3,644	△50,871
小計	729,081	1,059,161
利息及び配当金の受取額	4,763	4,664
法人税等の支払額	△148,037	△194,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	585,807	869,272
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,864	△5,725
無形固定資産の取得による支出	△268,712	△281,620
有価証券の取得による支出	—	△2,980,915
有価証券の償還による収入	—	2,000,000
敷金の回収による収入	52,432	—
その他	△1,079	180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220,223	△1,268,082
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△119,781	△127,248
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,781	△127,248
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	245,801	△526,058
現金及び現金同等物の期首残高	4,991,470	3,593,719
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,237,271	3,067,660

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、ワークフロー事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。